

学長のコラムコロナ禍における巣ごもりの過ごし方

コロナ禍の自粛生活は多くの人々に不自由を強いることになった。海外旅行が封印され、夜の街も自粛を要求される。とりわけ若い人達にとって自粛生活は大きな苦痛の様である。一方、私たちの年代、少なくとも私自身は、工夫次第で必ずしも苦痛ではなく有益に過ごすこともできる。若い頃は人並みに海外旅行が出来たし（留学経験もあることを考えると人並み以上か）、夜の街（これは人並み以下だが）も経験することができたので、あまり未練はない。自宅時間が増えた今、夕食後の時間帯は溜め込んだクラシック CD を聴くことが多い。

十数年前から、クラシック業界では「CD ボックスセット」がブームとなっている。当初はレコード会社の〇〇周年記念とかで、名盤レコードや CD を復刻して 30～50 枚（中には 100 枚セットというものまである）をまとめたボックス販売が人気を得ている。初回発売時は 1 枚 2 千円以上した CD が、ボックスになると 1 枚あたり 100 円～300 円程度で手に入る。最近では、作曲家別や指揮者・演奏家別の CD ボックスも発売されており、毎週のように新しい CD ボックスが発売されている。

これまでにグラモフォンや RCA、SONY などの周年記念ボックスやフルトヴェングラー、クライバー、チェリビダッケ、小澤征爾などの指揮者、マリア・カラスや往年のオペラ歌手の CD ボックスなどを集めて楽しんでいる。ところが、いざ 1 枚ずつ聞き始めると、自粛生活といえども、すべての CD を聞き終えるには一生かかっても時間が足りないことに気が付いた。CD 鑑賞はコロナ禍に見つけたささやかな喜びとなったが、音楽は生で聴いてこそ感動が高まるというもの。コンサートにでかけたり、海外の劇場でオペラ鑑賞をするのが老後の夢ではなかったか？やはりポストコロナに夢を馳せることにしたい！

さて最後になったが、今年度は多くの方々が本学を退職される。これまでのご貢献に心から感謝を申し上げたい。崎元理事長をはじめ定年を迎えられる方々に加え、新型コロナウイルスの流行や 7 月豪雨をうけて、人生の再設計をされる方もおられる。健康を取り戻すために早期退職される方もおられる。皆様の新しい人生が爽り多いものであることをお祈りしたい。



「CD ボックスセット」のコレクション

3月・4月・5月の主な行事予定

3/26 (金)	利益相反に関する研修会、心と体の健康づくり研修会
3/27 (土)	キャンパス見学会
3/29 (月)	職場の健康づくり「腰痛対策講座 (オンライン)」
3/31 (水)	退職者送別の会、辞令交付式
4/1 (木)	辞令交付式、新任者オリエンテーション 令和2年度部門別報告書提出締切 (企画・人事課)
4/2 (金)	入学式、ローソン営業開始
4/5 (月)	レストラン営業開始
4/8 (木)	(助産) 前期授業開始
4/9 (金)	(学部) 前期授業開始
5/15 (土)	開学記念日

第5回保健科学国際シンポジウム 2020 in 大邱

令和3(2021)年2月19日(金)大邱保健大学において、第5回保健科学国際シンポジウム(MT・Ns・PT・OT・ST)がハイブリッド形式(リアル・オンライン)で開催されました。本学からは moderator としてリハ学科 PT 専攻 山元総勝教授、個別発表者として医学検査学科 南部雅美教授、看護学科 井上加奈子講師、リハ学科 OT 専攻 山野克明教授、リハ学科 ST 専攻 松原慶吾准教授と兒玉成博講師の6名が参加いたしました。

午前の Opening Session では、主催者の SUNG-Hee Nam 学長挨拶、歓迎の余興、特別講演などはリアルタイムで開催され、海外からは Zoom を介した Youtube での視聴となりました。午後の Session は、Zoom を用いたオンライン開催で Session 毎に3部屋準備されていましたが、Session によっては、定員(100名制限)オーバーする部屋もあり、大盛況でした。本学では、発表者用の部屋を用意し、トラブルが生じないよう万全の態勢で臨みました。また、教職員が視聴できるように URL 等を事前に配信し、1300L 室をサテライト室にあて、多くの教職員の方々に視聴して頂き、誠にありがとうございました。

令和3(2021)年10月8・9日、第6回保健科学国際シンポジウムが本学主催で開催されます。今後本学ホームページにも特設ページを開設する予定です。個別演題発表、視聴参加等皆さまのご参加をお待ちしております。(文責：国際交流委員会 事務局 安部)

令和2年度 ハラスメント防止研修会

2月17日(水)にハラスメント防止研修会を開催し、132名の教職員が参加されました。今回の研修会では「キャンパス・ハラスメント防止研修」をテーマに、キャンパス・ハラスメントの種類や法制化の動き、また、なぜキャンパスでハラスメントが起きてしまうのかなどを具体的事例や行為の種類別に解説いただく内容でした。組織の固定化によるパワーの集中、雇用形態や学生の多様化などハラスメントの要因を生みやすい環境に身を置く者として、一人ひとりが行為者とならないため、日々心がけることが重要であると感じました。(文責：ハラスメント防止委員会事務局)

### アカデミックスキル支援センター (3)

アカデミックスキル支援センター紹介の第3回は、指導員についてです。学生指導員は、本学学部生で一定の訓練を受けた者が査定を経て認定されます。令和3年度は原則として1年次の必修科目「アカデミックスキルⅠ・Ⅱ」のリーダー学生として訓練を受けた学生のうち希望者が追加の研修を受けたのち、面接と小論文をもとに選抜されます。指導員は後輩のリーダー学生の指導、教材ビデオの制作、高校生のための文章講座の講師などセンターにおいて不可欠な役割を担います。いったん指導員に認定された後も研鑽を重ね、特に優れた技能を身に付けた者は上級指導員に昇格することもできます。またセンターには学生指導員に加え、本学大学院生と学外者から構成される外部指導員がいます。日中授業が詰まっている学生指導員(学部生)にはできない授業時間中の支援や日常的なセンター教員補佐などの業務にあたっています。(文責：アカデミックスキルラボ長 渡辺雄一)

### 卒業式・修了式

3月12日(金)にアリーナで卒業式・修了式を開催しました。昨年は、新型コロナウイルス感染拡大を防止する為、残念ながら式典を開催することができませんでしたが、今回は、式典の参加者を卒業生・修了生および本学教職員のみ限定し、学科単位を基本として時間帯を分散した上で、時間短縮により実施しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、無事に卒業式・修了式を執り行うことができました。卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございました。(文責：総務課)



※卒業生の晴れ姿を載せております。卒業生の皆さま、本当におめでとうございました！

(撮影：企画・人事課)

### 私の秘話ヒストリー

今回は共通教育センターの伊吹 唯 助教に投稿していただきました。

「銀杏学園」という文字を見ると思い出す光景がある。東京の郊外の比較的自然が多い地域の学校に幼稚園から高校まで通っていたが、敷地内にはいちょうの木が何本も植わっていた。中高の校舎は大きないちょうの木がある中庭に面していて、私は、窓の外が黄金色に染まる季節が大好きだった。昼休みに友達と中庭に降りて行き、一面に広がる黄色いじゅうたんの上で遊んでいた。高校生になってもクラスのほぼ全員(といっても20人弱)で遊んでいたような記憶もある。きれいに色づいた木々を眺めるという風情ある楽しみ方は私たちの頭にはなく、山ほどかき集めた葉を宙に舞い上がらせたり、友達と雪合戦のように葉っぱを投げ合ったり、体全部を使って黄葉を楽しんだ。いちょうの葉の山に埋まっていたり寝転がったりしている私たちの写真が、卒業アルバムに何枚も残っている。今でも、木々が色づく季節になると、あの頃のことを思い出してなんだかワクワクする。

※この記事は公開していません。